

第6回 巨瀬川流域治水推進会議 議事要旨

日時：令和6年5月20日（月）10:30～11:30 場所：筑後川河川事務所 1F 第1会議室

1. 開会

（小松名誉教授）

- ・ 筑後川流域において、下流・中流部は全国でもトップクラスの水害リスクを抱えている。
- ・ 短期的対策としての緊プロによるハード対策に加え流プロを実施するとともに、中長期的対策として、筑後川の水位を上昇させない対策も必要。

2. 巨瀬川流域治水推進会議について

- ・ 令和5年7月出水の状況
- ・ 会議の目的と第5回までの振り返り

3. 巨瀬川流域治水推進会議の今後の進め方について

- ・ 治水対策を更に迅速に議論するため、巨瀬川流域治水推進会議に実務担当者で組織するワーキングを設置する。
- ・ ワーキングでは、水害（外水・内水）の解消に向け、河川整備に加え、町づくり等を踏まえた検討を行う。
- ・ ワーキングでは、特定都市河川指定制度を一つのツールと捉え、これからの「水害に強いまちづくりのための方策」として議論・検討する。
- ・ ワーキングで検討した結果については、巨瀬川流域治水推進会議にて報告を行う。

4. 報告

- 1) 福岡県浸水対策重点地域緊急事業について報告（福岡県県土整備部 河川整備課）
 - ・ 浸水対策重点地域緊急事業では、調整池の整備を実施。
 - ・ 筑後川水系巨瀬川流域緊急治水対策プロジェクトに追加。
- 2) 集中豪雨と線状降水帯（福岡管区气象台）
線状降水帯発生メカニズム及び予測の高度化について説明。

以上